

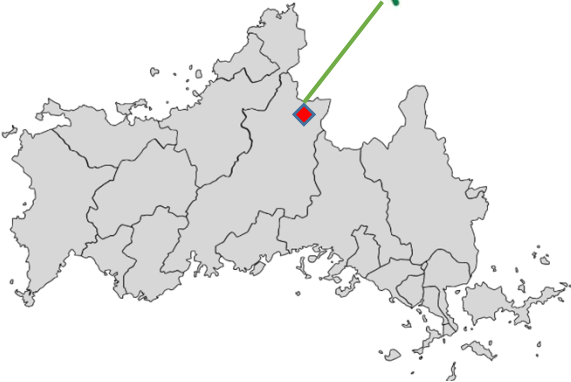
【飼料増産】（山口県山口市 有限会社 船方総合農場）

- ・(有)船方総合農場では、平成26年から自給飼料生産(飼料用稲WCS(Whole Crop Silage 茎葉と子実を一緒に収穫してサイレージに調整した飼料))を開始。年間の粗飼料を確保し、給与飼料(TMR(Total Mixed Ration 完全混合飼料))の品質が安定、搾乳牛の体調管理に寄与。
- ・令和3年、過度の輸入飼料依存への不安から、更なる自給粗飼料の確保のため青刈りとうもろこしの生産を開始。
- ・今後、青刈りとうもろこしの生産については、高齢化等により増加する地域の耕作放棄地(水田)を団地化・拡大・利用し、自給飼料生産体制の充実を図るとともに、中山間地域の持続可能な農業による地域活性化に取り組んでいきたいと考えている。

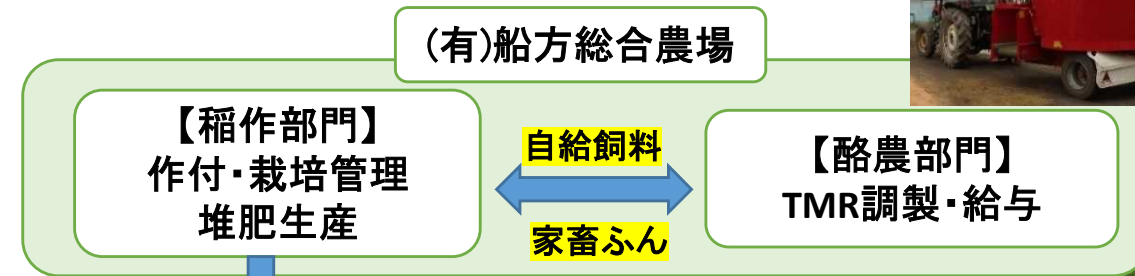
船方農場グループ (有)船方総合農場

【経営概要】

- ・飼養頭数(R3.10現在)
 - 経産牛 約70頭
 - 育成牛 約30頭
 - 肉用牛(F1) 約60頭
- ・自給飼料給与割合
 - 飼料用稲WCS 約3割
 - 青刈りとうもろこし 約1割



【飼料生産体制】



代表取締役 坂本賢一 氏

【将来像】

- ・青刈りとうもろこしの生産拡大
- ・飼料自給率の拡大